

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			利用者の行動把握をする為には適切な広さだと思われる。 利用定員が遵守されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	1	利用者の満足度を考えると、適切とは言えない。職員数は定数であるが十分な休憩時間が確保出来ない事がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			段差もなく、特に困っている部分はない。 バリアフリー化されており、整理整頓出来ている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		朝礼・昼礼・終礼を通して申し送り事項、周知事項の徹底はされていると思われる。 計画を立てて実行した事の評価・考察や改善点など振り返りをしている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	3		主に管理者の方で取りまとめて頂いているものを、伝えて頂けるのでありがたい。 アンケートを実施したが全ての回収が出来ていない為、評価出来ていない。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		4		把握出来ていない。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4		第三者による外部評価を行っているか、把握出していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2		コロナの影響で研修の機会が減っている。

適切な支援の提供

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		管理職が作成し、職員へ伝達している。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		子ども個人の行動より、起こりえる現象を職員が把握している。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			前もって行うことが出来ている。その日のリーダーを決めて、活動プログラムの立案をし、スタッフ間での共有や指示を行っている。
⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	4			日々活動リーダーを変えて固定化しないよう工夫している。 その為皆で相談が出来、毎月の活動内容を写真に残し振り返っている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		ホワイトボードに1日のスケジュールを記載し、課題学習を提供している。 休日、長期休暇時はイベントを開催している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			集団で行うことと、個別で行うことを組み合わせて活動している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		朝礼や昼礼の際にスタッフ間での周知・確認を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2	2		終礼にて本日あった出来事等を振り返り、共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日記録を取り、いつ誰が見ても見やすく分かりやすい記録を取ることを心掛けている また、見返すことにより検証・改善に繋げている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			2か月に1度モニタリングを実施している。

①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか		4	ガイドラインが複数組み合わせられているか把握していない。
----	---------------------------------------	--	---	------------------------------

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		管理者が行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		報告・連絡・相談はしっかりと行っている。行事等の事で、学校と直接の情報共有は行っていないが、送迎時の遅れが生じた場合は必ず連絡している。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		把握出来ていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		管理者が把握している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		管理者がしていると思われる。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		受けたことがない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	1	2	1	放課後児童クラブに通っている利用者、障害を持っている利用者も放課後等デイサービスにて普通学級に通っている利用者との交流がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	1	参加したことがない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帳や送迎時にてお伝えする事が出来ている。保護者からの困り感等を職員で共通理解出来ている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		相談支援事業所の担当者・現場職員保護者で情報交換及び共有している。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	管理者より行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2	相談を受けたスタッフは全員、親身になって相談や助言を行っている。 自己判断できない場合は管理者を通して助言している。
	③⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	ホームページに記載されていた。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	苦情があった場合、すぐに管理者へ報告し、迅速かつ適切に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	会報があるか把握していないが、活動の様子や行事予定は保護者や利用者へ発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4		個人情報については、定期的に扱い方に注意するよう徹底している。情報は持ち帰らない、第三者に話さないようにしている。処分する際は必ずシュレッダーしている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		連絡帳や送迎時にて主に行っている。言葉の言い回しや伝え方には十分に配慮している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	事務所の目に入るところに掲示している。マニュアルは職員個人で管理しており、保護者にも周知出来ている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	1	3	防災グッズや水等の準備を行っている。参加したことがない。
	③⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	療育内容会議で行っている。アンガーマネジメントの研修を受けた。

対応

④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	どのような場合でも身体拘束を行っていない。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	クッキング時には気を付けている。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		報告書作成や療育内容会議の場でも、全員で共有出来ている。